

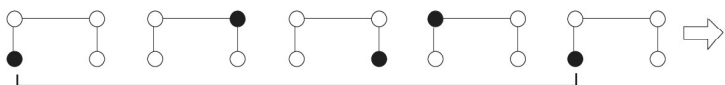
「アウェアネス介助論」正誤表

2011/11/16 第1刷

「アウェアネス介助論」の正誤表です。

この正誤表をA4の紙に印刷すると、図や文字が本と大体同じ大きさになります。

修正された図や文字を切り抜いて貼り付けて、ご使用ください。

訂正箇所	誤	正
p.42 17行目	全体主義	全体論
p.554 12行目	軸全成分	軸前成分
p.568 図8-165	ギャロップの左から4番目の図が違いました。	
ギャロップ (大がけ)		

2015/07/28修正 第1-2刷

p.144 2行目以降

肛門を十分に持ち上げられません。ですから、便をこらえるには内閉鎖筋の緊張が必要です。内閉鎖筋は下肢の大転子についています。下肢が内転する、つまり内股になると、内閉鎖筋は伸ばされます。緊張が高まりやすくなります。便や尿を我慢している人が膝を交叉させて必死でがんばっているのはそのためです。膝を開くと漏れてしまうのです。逆のことも言えます。便座に座って排便するときには、膝を開くと排泄しやすくなります。

読者にはご面倒をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。